

乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

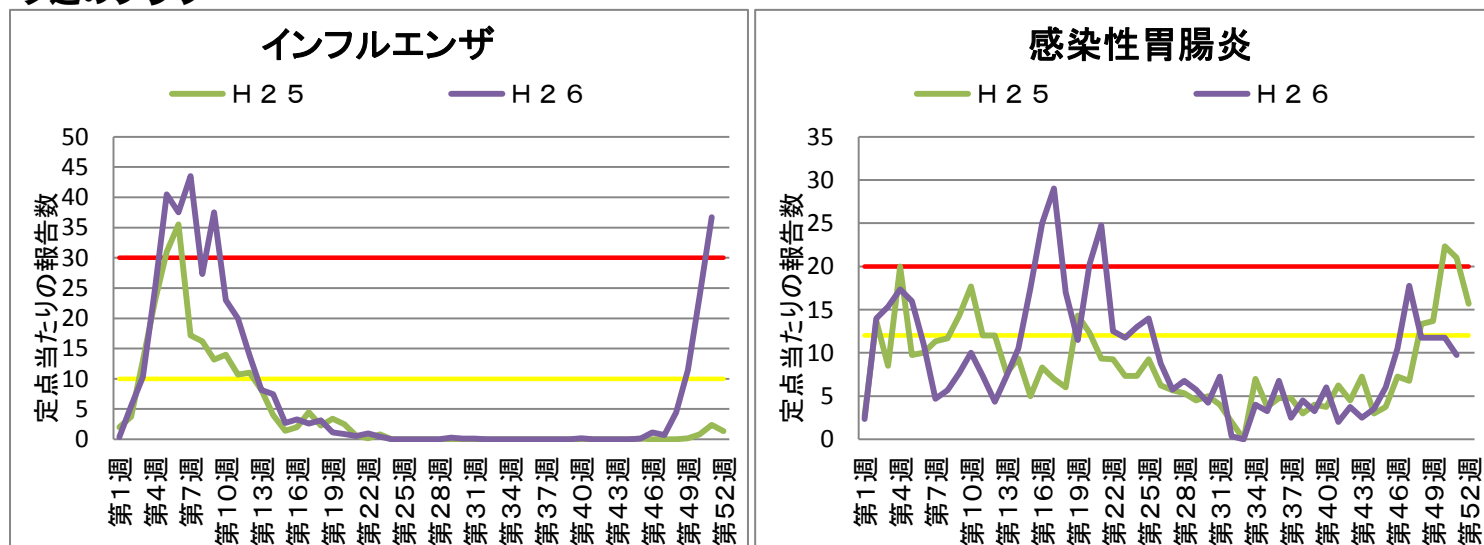
第 51 週 平成26年12月15日 ～ 平成26年12月21日

今週のコメント

①インフルエンザの報告がさらに増加し、定点あたりの報告が36.71件となり、警報レベルを超過しました。全国の直近の5週間(第46週～第50週)ではAH3亜型の検出割合が最も多く、次いでB型、AH1pdm09の順となっています。②感染性胃腸炎の報告はやや減少しましたが、引き続き注意が必要です(定点あたり9.75件)。③RSウイルス感染症は、全国的に高水準で流行が続いており、注意が必要です。④流行警報基準を超えていた咽頭結膜熱の報告はやや減少しています。

※インフルエンザの予防には、うがいや手洗いの励行、外出時のマスクの着用、十分な栄養と休養、咳エチケットを心がけましょう。

今週のグラフ



* — 流行警報基準値です — 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点あたりの報告数	疾病名	定点あたりの報告数
インフルエンザ	36.71	手足口病	1.25
RSウイルス感染症	0.5	伝染性紅斑	1.25
咽頭結膜熱	1	突発性発しん	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.25	百日咳	-
感染性胃腸炎	9.75	ヘルパンギーナ	-
水痘	1.75	流行性耳下腺炎	-

定点あたりの報告数 = 一週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

報告週対応表

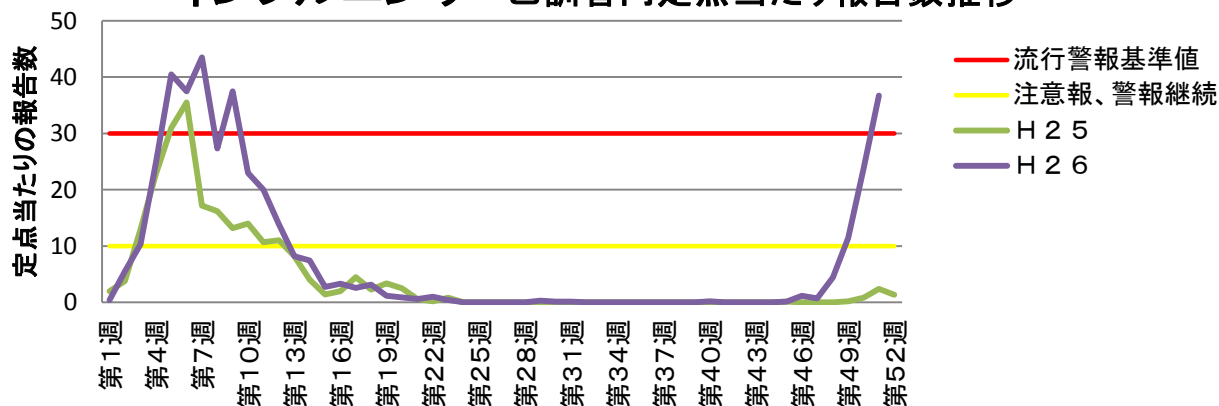
警報・注意報基準値の説明

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

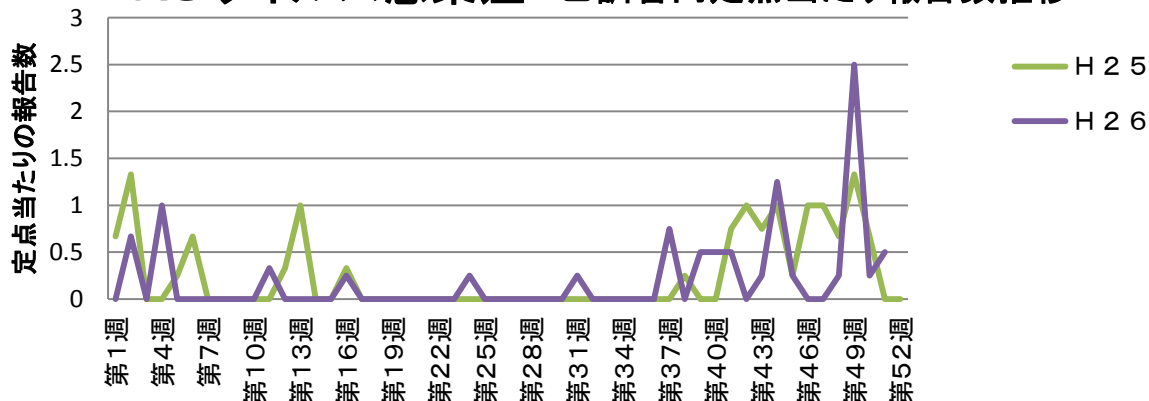
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

定点報告による各疾病の推移

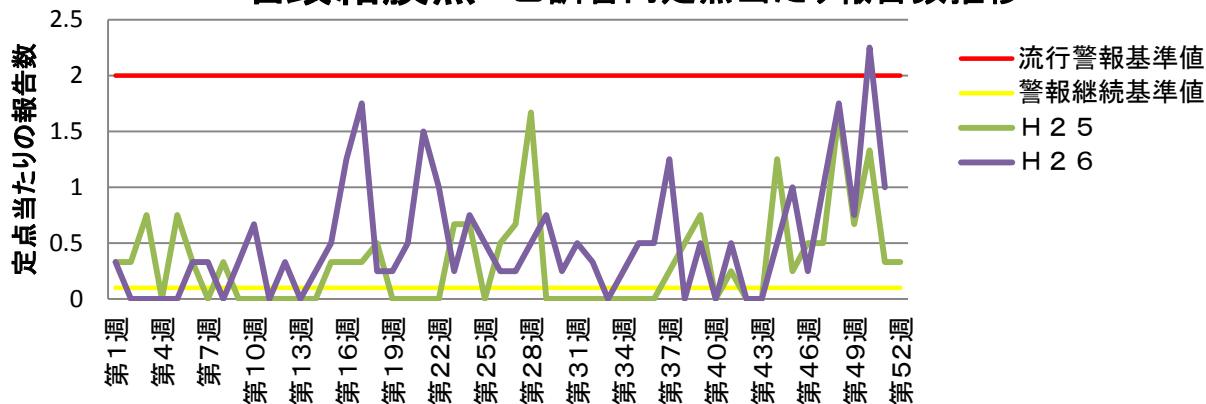
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



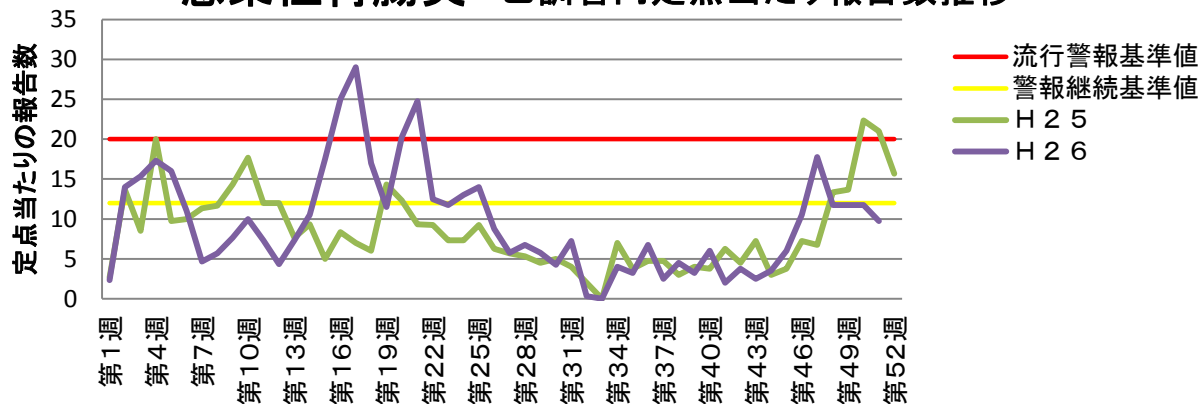
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



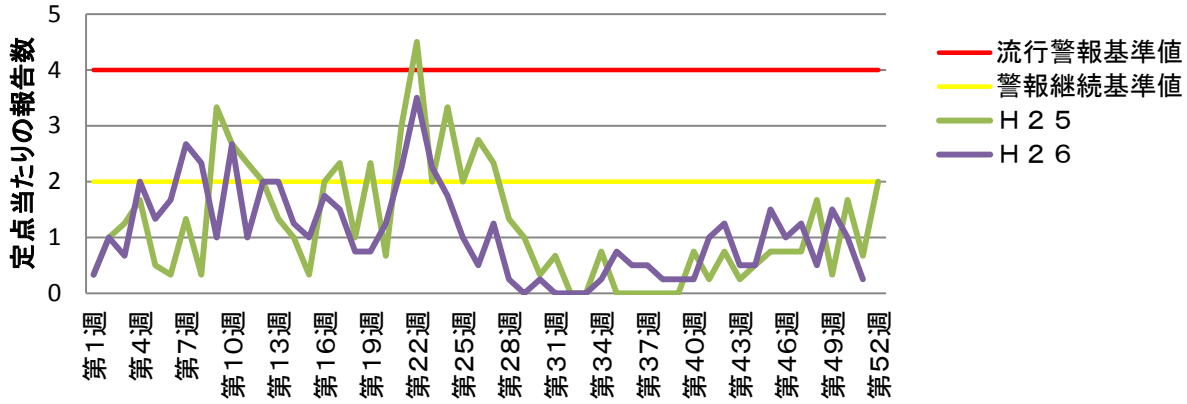
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



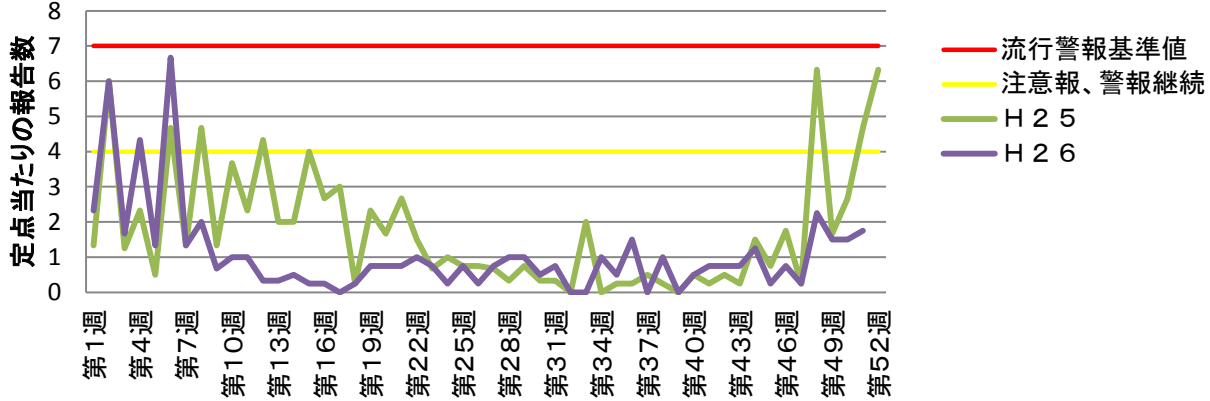
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



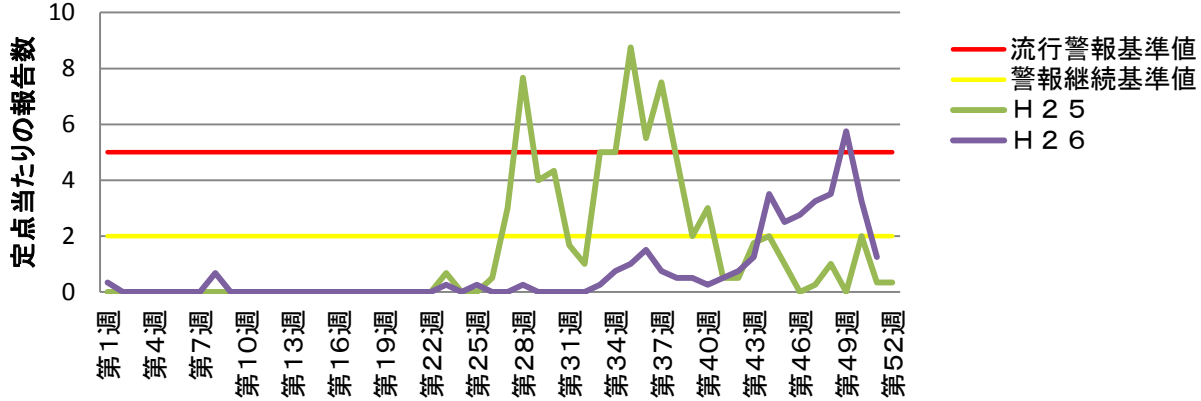
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



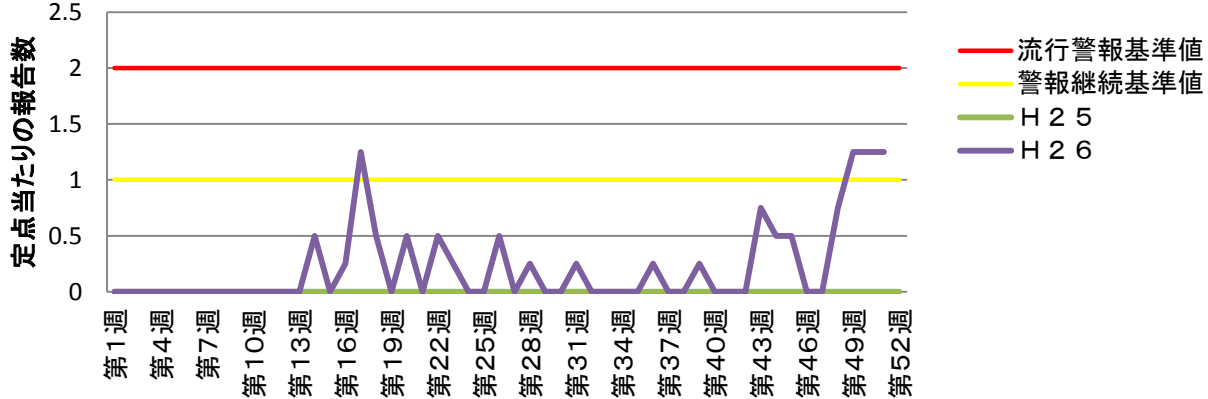
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



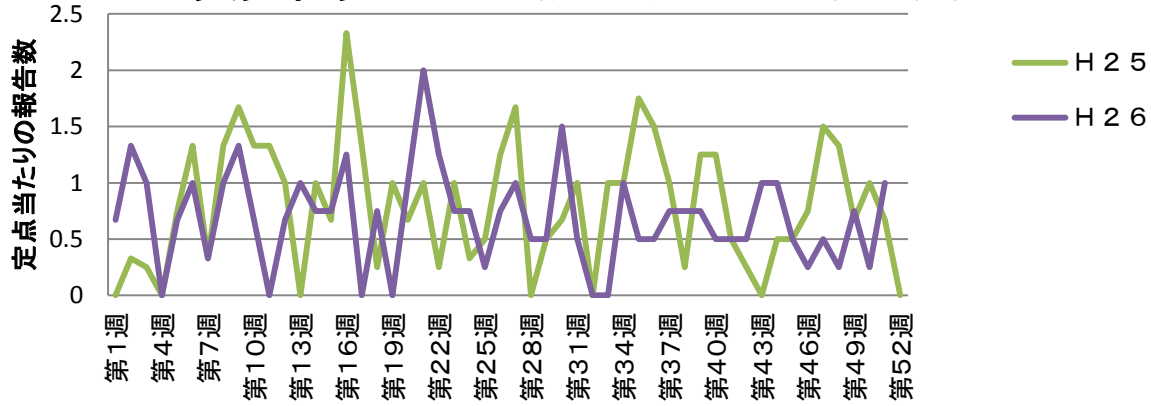
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



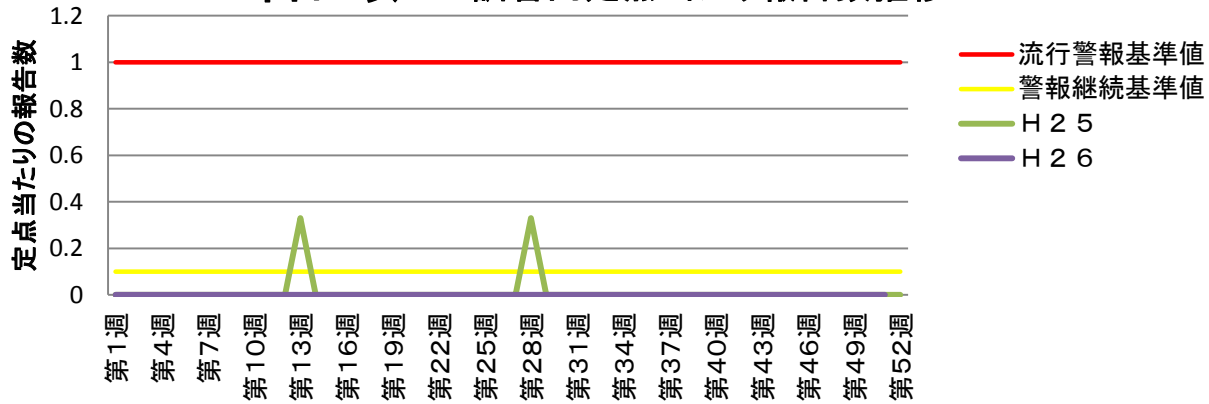
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



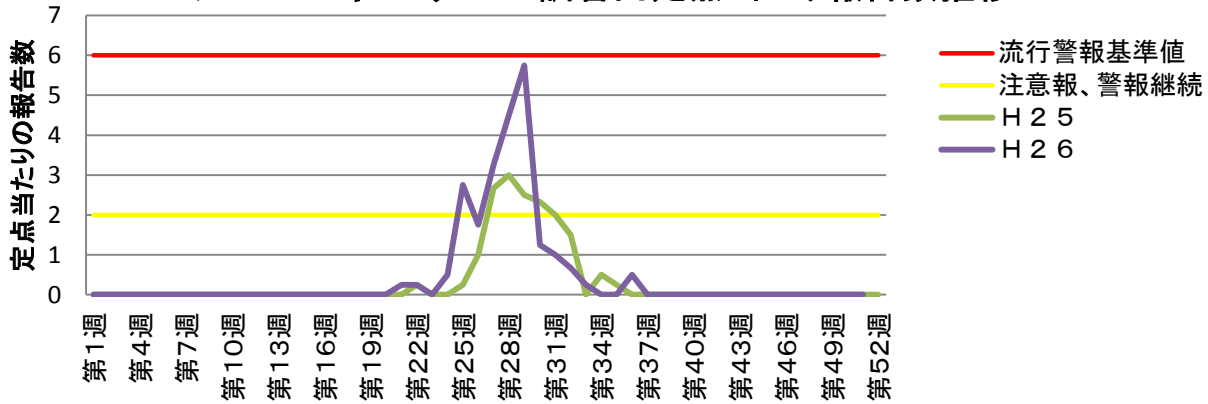
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

